

全国地域婦人団体連絡協議会

National Federation of Regional Women's Organizations

P 1 地婦連の主な取り組み

P 2 地婦連とは

P 3 地婦連の活動

P 4 全地婦連 団体概要

■主な取り組み分野

男女共同参画社会の実現

地域活性化

環境問題

食の安全・安心と農林水産業

消費者問題

子育て・教育

福祉・健康

平和運動

【地婦連とは】

全国各地の地域コミュニティに根差した女性組織である「地域婦人会」は、それぞれ独自の地域活動を行いながら、市町村—都道府県—全国とネットワークを結び、活動内容の向上や、共同による社会運動に取り組んできました。全国地域婦人団体連絡協議会（全地婦連）は、各県のリーダーが集まって、1952年に設立されました。

地婦連では常に地域の目線で、暮らしに根ざした課題に取り組んできました。

【地婦連のつながり】

地域婦人会（女性会） — 市町村地婦連 — 都道府県地婦連 — 全地婦連

【加盟団体一覧】

北海道・東北ブロック（7団体）

北海道女性団体連絡協議会
青森県地域婦人団体連合会
岩手県地域婦人団体協議会
宮城県地域婦人団体連絡協議会
秋田県地域婦人団体連絡協議会
山形県婦人連盟
福島県婦人団体連合会

関東ブロック（12団体）

新潟県婦人連盟
茨城県地域女性団体連絡会
栃木県地域婦人連絡協議会
群馬県地域婦人団体連合会
埼玉県地域婦人会連合会
千葉県連合婦人会
東京都地域婦人団体連盟
神奈川県地域婦人団体連絡協議会
山梨県連合婦人会
長野県連合婦人会
静岡県地域女性団体連絡協議会
川崎市地域女性連絡協議会

中部ブロック（5団体）

愛知県地域婦人団体連絡協議会
富山県婦人会
石川県婦人団体協議会
福井県連合婦人会
岐阜県地域女性団体協議会



近畿ブロック（7団体）

三重県地域婦人会連絡協議会
滋賀県地域女性団体連合会
京都府連合婦人会
大阪府地域婦人団体協議会
兵庫県連合婦人会
奈良県地域婦人団体連絡協議会
和歌山県婦人団体連絡協議会

中国ブロック（5団体）

鳥取県連合婦人会
島根県連合婦人会
岡山県婦人協議会
広島県地域女性団体連絡協議会
山口県連合婦人会

四国ブロック（4団体）

徳島県婦人団体連合会
香川県婦人団体連絡協議会
愛媛県連合婦人会
高知県連合婦人会

九州ブロック（8団体）

福岡県地域婦人会連絡協議会
佐賀県地域婦人連絡協議会
長崎県地域婦人団体連絡協議会
熊本県地域婦人会連絡協議会
大分県地域婦人団体連合会
宮崎県地域婦人連絡協議会
鹿児島県地域女性団体連絡協議会
沖縄県婦人連合会

地婦連の活動



地婦連にとって、防災は大きな課題です。いざ災害があった時に慌てずにすむように、毎年、防災学習会を地域で開催しています。

また、消費者問題・企業との対話、消費者関連政策に関する各種懇談会・審議会等への参画や提言活動、全国消費者団体連絡会への加盟と連携などのほか、製品安全問題などについても研修会で学習しています。

写真左は製品安全セミナー、右は防災学習会の様子です。



地域の助け合い・福祉への寄付や国内外の災害支援等のため、募金活動やバザーにも恒常的に取り組んでいます。

2016年4月の熊本地震の被害に対し1400万円を超える募金が寄せられ、被害の大きかった熊本県の地婦連へ支援金を5月に開催された年次理事会の場でお渡ししました。



年1回する「全国地域婦人団体研究大会」には、全国各地の地域女性リーダー1000人以上が一堂に会し、くらしや地域の問題について話し合ったり、地域活動のアイデアを増やしたり、会員の視野を広げ交流を深めたりしています。こうした交流が、また、相互の信頼や協力するところを育みます。写真は、2015年10月に福岡県福岡市で開催した第63回大会の様子。



地婦連では、女性、消費者、住民・市民の立場にたって、地方を元気にするための施策、男女共同参画や消費者問題などの課題や要望を政府関係者・機関等に伝える活動も行っています。写真は、石破茂地方創生担当大臣、高市早苗総務大臣に面会し、政策面での要望を伝えたり、意見交換を行っている様子。

全国地域婦人団体連絡協議会 団体概要

(2016. 6. 10 現在)

住 所) 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-17-14
電 話) 03-3407-4303
FAX) 03-3407-4305
URL) <http://www.chifuren.gr.jp/>

団体概要

全国地域婦人団体連絡協議会（全地婦連）は、地域婦人会・女性会のネットワーク組織で、全国の48団体（47都道府県＋1政令市）が加盟。

各地の婦人会・女性会は地域社会に密着しつつ、社会教育団体としての特性を大切に、自主性とボランタリーな精神で、地域福祉、まちづくり、男女共同参画推進、子育て支援、環境、食生活・食育、防災、消費者問題、結核予防など、幅広い分野で地域の活性化とくらしに関する課題・問題の改善などに取り組んでいます。

たとえば福祉分野では、関連したテーマについて学習を積み重ねつつ、実践面では社協、老人クラブ、自治会、学校、日赤、消防等と連携することも多く、敬老会・昼食会の開催、お弁当の配達、施設訪問、バザーやチャリティーイベントなどの実施、高齢者世帯の訪問活動（消費者啓発や火災予防をかねる場合も多い）、災害弱者・女性・子どもに焦点をあてた防災学習・訓練など、多様に展開されています。

全地婦連はそうした各地の活動の活性化支援とともに、活動内容や会員の声を全国レベルで相互につなぎ、くらし・地域の実情を社会にとどけ、重要な政策等の会員間での情報共有、他団体との連携などを図っています。

全地婦連の役員

会長	柿沼トミ子	（埼玉県地域婦人会連合会会長）
副会長	中田 和子	（北海道女性団体連絡協議会会長）
副会長	岩田 繁子	（富山県婦人会会長）
副会長	野田 法子	（香川県婦人団体連絡協議会会長）
副会長	外石 栄子	（新潟県婦人連盟会長）

全地婦連の活動

- (1) 理事会の開催（常任理事会・理事会）
- (2) ブロック会議（全国7ブロックで開催）
- (3) 第64回全国地域婦人研究大会（埼玉県） 2016. 10. 20～21
- (4) 研修・講座等の開催
- (5) 婦人会・女性会／地域女性団体の拡大・活性化
- (6) 政策提言活動
- (7) 「ちふれ化粧品」の普及・開発、「桜映画社」の作品の普及
- (8) 機関紙「全地婦連」の充実・購読の拡大